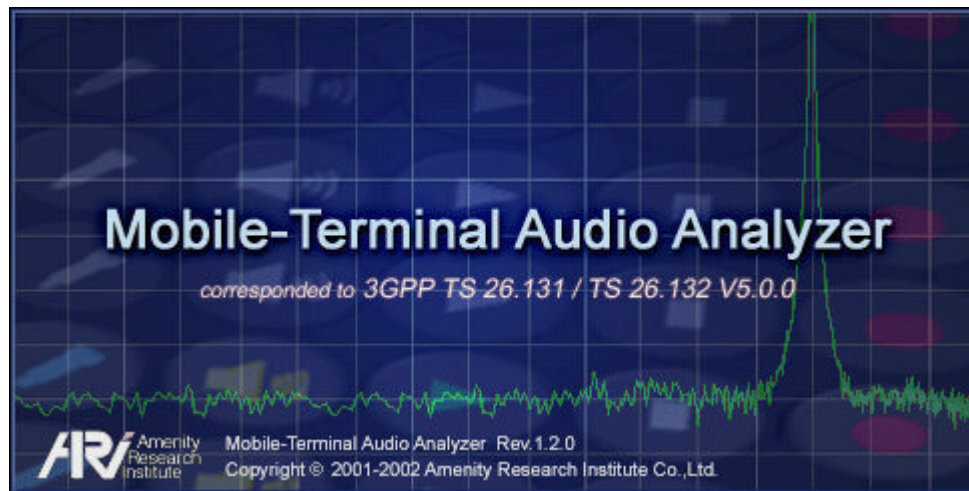


Mobile-Terminal Audio Analyzer



Remote Control Software MTA-01WB (Rev.1.2.0)

インストール手順書

2002年3月7日



株式会社エー・アール・アイ

1.はじめに



モバイル通信機器用オーディオ測定システムMTA-01WBをご愛顧いただきましてありがとうございます。
この度、機能追加および不具合対応といたしましてコントロールソフトウェア Rev.1.2.0 (2002.03.07)をリリースいたしました。お手数をおかけしますが、Rev.1.2.0へのアップデートを行っていただきますようお願い申し上げます。

この取扱説明書にはRev.1.2.0へのアップデートにともなう操作について順を追って記載してあります。本書をご参照の上アップデートを行ってください。

1.1 本書の読み方

1.1.1 解説と注意事項の表記方法

本書では、各文章中で説明が必要と思われる用語や操作に関連する事項を文章とは別欄に、下図のようにトピック的に説明しています。特に操作に関連して注意が必要と思われる箇所には注意事項として表記します。

 解説	本書に記述されている用語説明やヒント事項がここに記載されます。
 注意事項	操作などに関する注意事項等の説明がここに記載されます。

解説と注意事項の表記方法

1.1.2 操作手順の表記方法

本書では、操作手順を説明する際に、下図のような表記方法を行います。説明する操作がマウスもしくはキーボードのどちらか(または両方を使用して)行えるもの、マウスのみで行えるもの、キーボードのみで行えるもので、それぞれ表記されるマークが異なります。



操作手順 1、マウスとキーボードに共通の操作の説明。



操作手順 2、マウスのみにも有効な操作の説明。



操作手順 3、キーボードのみにも有効な操作の説明。

操作手順の表記方法

1.1.3 各部名称の表記方法

本書では、メニュー項目やボタンイメージなどで画面上で文字として表示される機能部位について、その文字を“<>”で括って表記します。

2.Rev.1.2.0のインストール

MTA-01WB(Rev.1.2.0)へのアップデートは、CD-ROMにより行う場合と弊社ホームページよりダウンロードしたファイルを使用して行う場合があります URL : <http://www.ari-web.com/>)。それぞれの場合によってインストーラーが起動するまでの経路が異なります。CD-ROMによるアップデートを行う場合は、2.2 ダウンロードファイルの解凍は必要ありませんので、2.3 インストール手順 から参照してください。

2.1 Rev.1.2.0追加機能 修正内容

Rev.1.2.0での修正内容は下記の通りです。

2.1.1 追加機能

- ❖ 右サイドバーに<Ratio>ボタンを追加しました。SLR、RLR、送話 受話感度周波数特性、ANR、側音特性の測定におけるグラフ表示で、出力/入力の比をグラフ表示できるように機能を追加しました。
- ❖ Ratio表示機能の追加に伴い、受話感度周波数特性の両耳測定の場合のRatio表示について、入力と出力の比を表示するために、POI点の測定データの取得を新規に行うように修正しました。(動作はRLR両耳と同様)
- ❖ グラフ表示の縦軸名称の表示を、シーケンスおよび入力チャンネルごとに適切な内容を表示するように修正しました。これに伴い印刷内容にも反映するように対応しました。
- ❖ 受話雑音の規格値表示ラベルで、Noise[dBSPL]の値の表示単位を3GPP規格書に合わせて[dBPa]に修正しました。これに伴いラベル名称をNoise Levelに変更しました。
- ❖ 縦軸 横軸レンジを各シーケンスごとにもつように修正しました。歪グラフのレンジを変更することが可能になりました。
- ❖ 測定データの記録時、設定ファイルの内容を更新するように機能を追加しました(前回迄のバージョンでは、アプリケーション終了時に設定ファイルの内容を更新していません)
- ❖ 測定中 非測定中状態によるメニューおよびボタンの活性 非活性表示を行うよう修正しました。

2.1.2 修正内容

- ❖ SLR、RLR、ANR、STMRそれぞれNarrow/Wideに対応した重み付けのテーブルを持つように修正しました(前回迄のバージョンでは、Narrow/Wideに関わりなくすべてWide-band版の重み付けテーブルを使用していました)
- ❖ Narrow-band 端末を試験端末として設定し測定を行う際に、計算対象の周波数帯域を正しくNarrow-bandに対応するように修正しました(前回までのバージョンでは、Wide-bandに対応する100Hz~8kHzの周波数帯域を使用していました)
- ❖ レコードリストのグラフ表示した状態でシーケンス選択の操作を行うと、レコードリストで表示されていたグラフが表示されなくなる現象を修正しました。
- ❖ 両耳モードの測定で、1回目の測定中に停止された場合は初期化、1回目の測定中に停止された場合は1回目の両耳合算データと2回目の停止直前までの測定データを参照できるように修正しました。
- ❖ 測定中の状態で左サイドバーの<Meas>ボタン(および該当するメニュー)以外のメインビュー切替ボタン(メニュー)を非活性表示(使用不可)するように修正しました。
- ❖ 測定中にオフライン操作された場合、測定停止を行ってからオフライン処理に移行するように修正しました。
- ❖ 最小化表示直前のメインウィンドウの位置を正しく設定ファイルに記録するように修正しました。
- ❖ Terminal リストでUnselected(非選択)状態で終了し、次回起動すると必ず終了し起動できなくなってしまう現象を起動できるように修正しました。

- ❖両耳測定 (RLR、受話感度周波数特性)の記録データ表示時に、B系統のInputチャンネル切替ボタンが非活性状態 (使用不可)で表示されるため、B系統のグラフ表示を行うことができない現象を使用できるように修正しました。
- ❖<Signal>リスト表示時の、ツールバーの選択・選択クリアボタンを活性表示 (使用可)に修正しました。
- ❖アクティブカーソルが表示されていない状態でスペースキーを押下した場合、先頭 (No.1) のリストを選択するように修正しました。
- ❖歪測定のシーケンス選択時、メニュー項目の入力チャンネルを非活性表示 (使用不可)するように修正しました。
- ❖グラフ印刷で、セットアップ表示パネルの右端領域の印刷を右揃えて印刷するように修正しました。

2.2 ダウンロードファイルの解凍

ダウンロードしたファイル「3GPP_120.exe」を実行して解凍します。解凍が終わると「Setup.exe」が自動的に実行され、インストーラーが起動します。(CD-ROMによるアップデートを行う場合は 2.3 インストール手順 から参照してください。)

ダウンロードファイルの解凍は、以下の手順でおこないます。



3GPP_120.exe ファイルを実行します。

3GPP_120.exe を実行すると次の図のような画面が表示されます。



3GPP_120.exeの解凍開始



<次へ(N)>ボタンをクリックします。

解凍先を変更する場合は<参照(B)>ボタンをクリックしてください。本書ではデフォルトディレクトリに解凍されるものとして説明します。



解凍（インストール）先の選択



解説

「インストール先のフォルダ(I)」は、解凍先の保存場所の指定を意味しています。



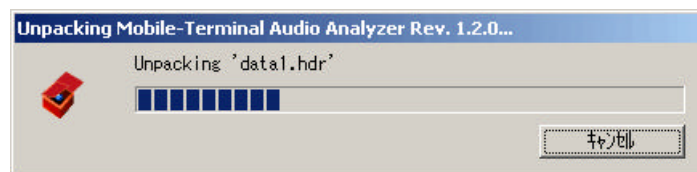
<完了>ボタンをクリックします。

解凍先にフォルダが無い場合は、次の図のようなフォルダ作成の確認ダイアログが表示されます。



フォルダ作成確認

<はい(Y)>ボタンをクリックすると、解凍が開始され、次の図のような解凍状況が表示されます。



ファイル解凍中

解凍が終了すると自動的に「Setup.exe」ファイルが実行されインストーラーが起動します。自動的に起動しない場合は、解凍先のフォルダ内の「Setup.exe」を実行してください。

2.3 インストール手順

Rev.1.2.0のインストールはインストーラーを用いて行います。CD-ROMからのインストールに関して、お使いのPCのCD-ROMドライブが自動起動に設定されている場合、CD-ROMドライブにインストールCDをセットすると自動的にインストールプログラムが起動します。起動しない場合は、CD-ROMのルートディレクトリからSetup.exeを起動するようにしてください。



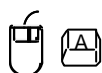
Setup.exeを実行します。

Setup.exeを実行すると、次の図のようなメッセージが表示されインストールする準備を開始します。

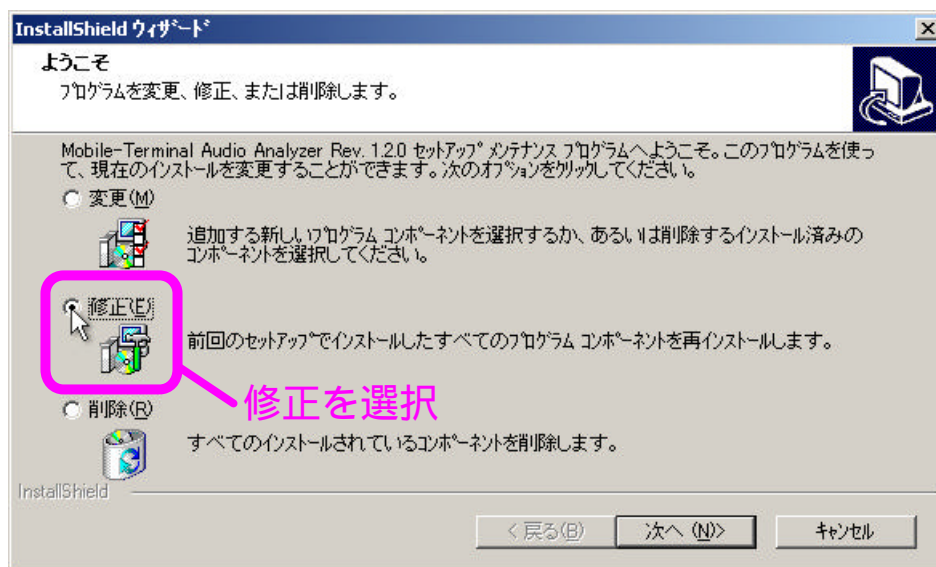


インストール作業の準備

インストール作業の準備が完了すると次の図のようなプログラムの変更、修正画面が表示されます。



<修正(E)>を選択(クリック)します。



プログラムの変更、修正画面



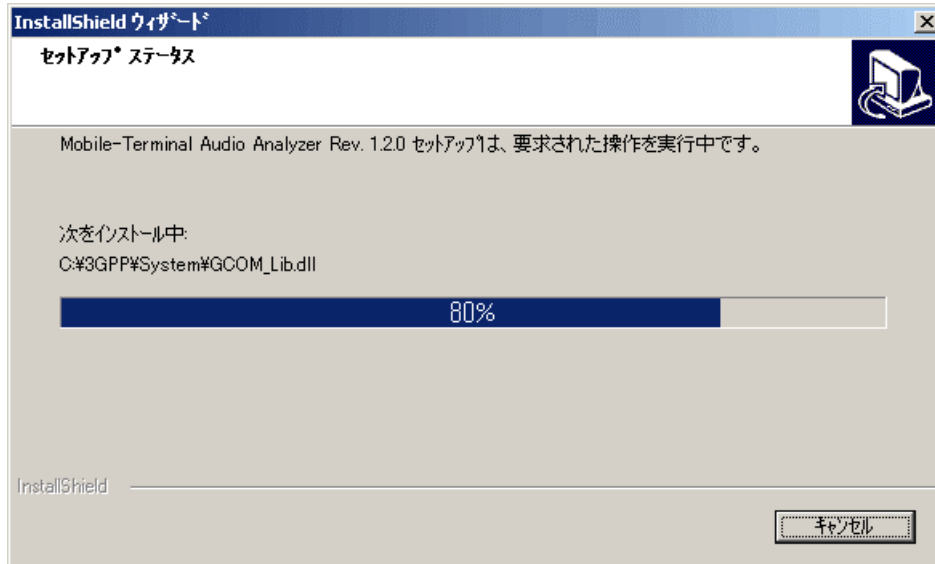
注意事項

<修正(E)>に選択を変更します(初期状態では、<変更(M)>が選択されています)。修正を選択しないと正常にアップデートされませんのでご注意ください。



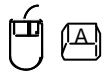
<次へ(N)>ボタンを選択(クリック)します。

<次へ(N)>ボタンをクリックすると、インストール作業が開始され、下図のようなインストール状況が表示されます。

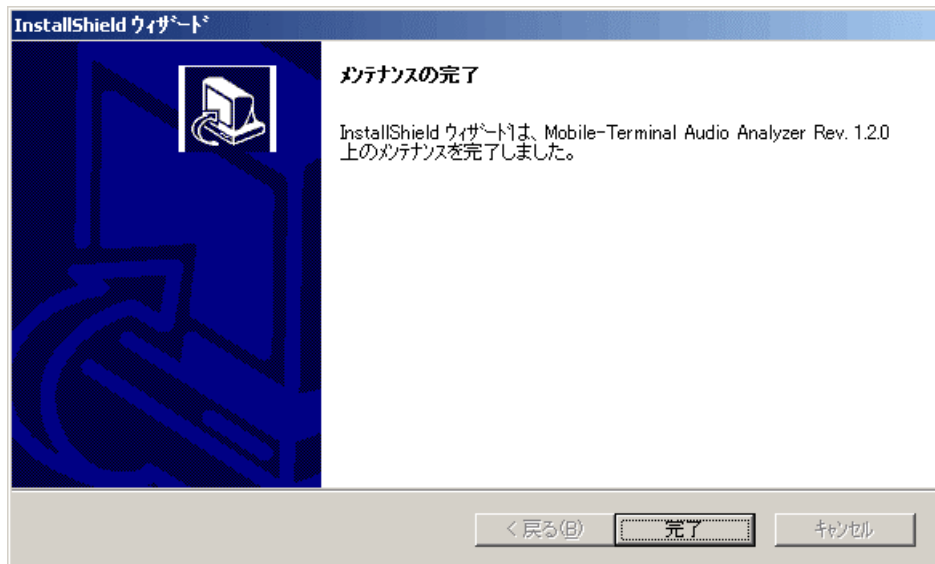


セットアップステータス

セットアップが終了すると下図のようなセットアップの完了画面が表示されます。



<完了>ボタンをクリックします。



セットアップ完了

以上でRev.1.2.0のインストールは完了です。

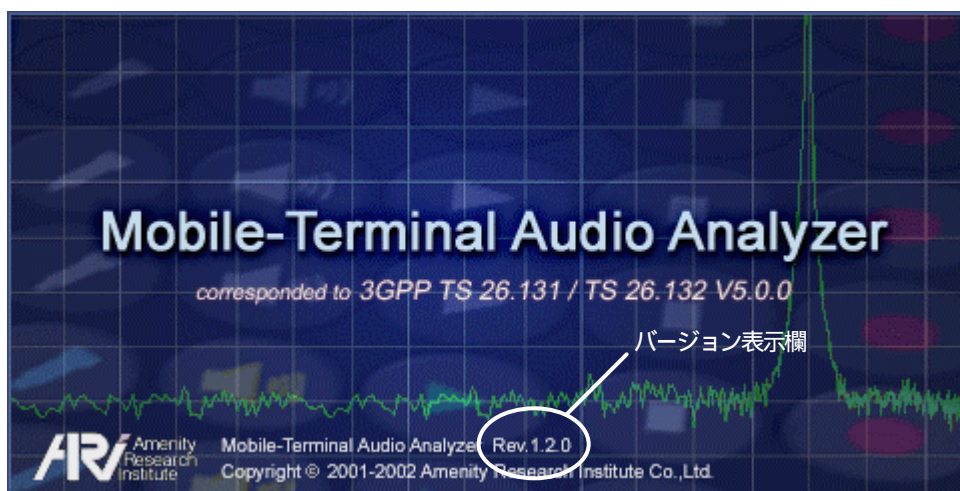
2.4 アップデートの確認

インストールが完了したら、アプリケーションを起動しRev.の確認を行います。



アプリケーションを起動し、メニューバーの<ヘルプ - <バージョン情報>を実行します。

図の画面が表示されますのでRev.表示欄が「Rev.1.2.0」になっていることを確認します。この画面はアプリケーション起動時にも表示されます。



バージョン情報画面

Rev.の確認ができればRev.1.2.0へのアップデート作業は全て終了です。



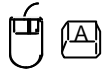
次項に補足説明があります。

Rev.1.2.0のインストールが終了し、スタートメニューからアプリケーションの起動メニューを確認すると、旧Rev.の起動メニューが残っている場合がありますので削除するようにしてください。

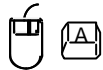
2.5 補足

Rev.1.2.0のインストールが終了し、スタートメニューからアプリケーションの起動メニューを確認すると、旧Rev.の起動メニューが残っている場合があります。どちらのメニューから起動してもRev.1.2.0が起動されますので、旧Rev.の起動メニューを削除するようにしてください。

旧Rev.の起動メニュー削除は、以下の手順でおこないます。



<スタート>ボタンをクリックします。



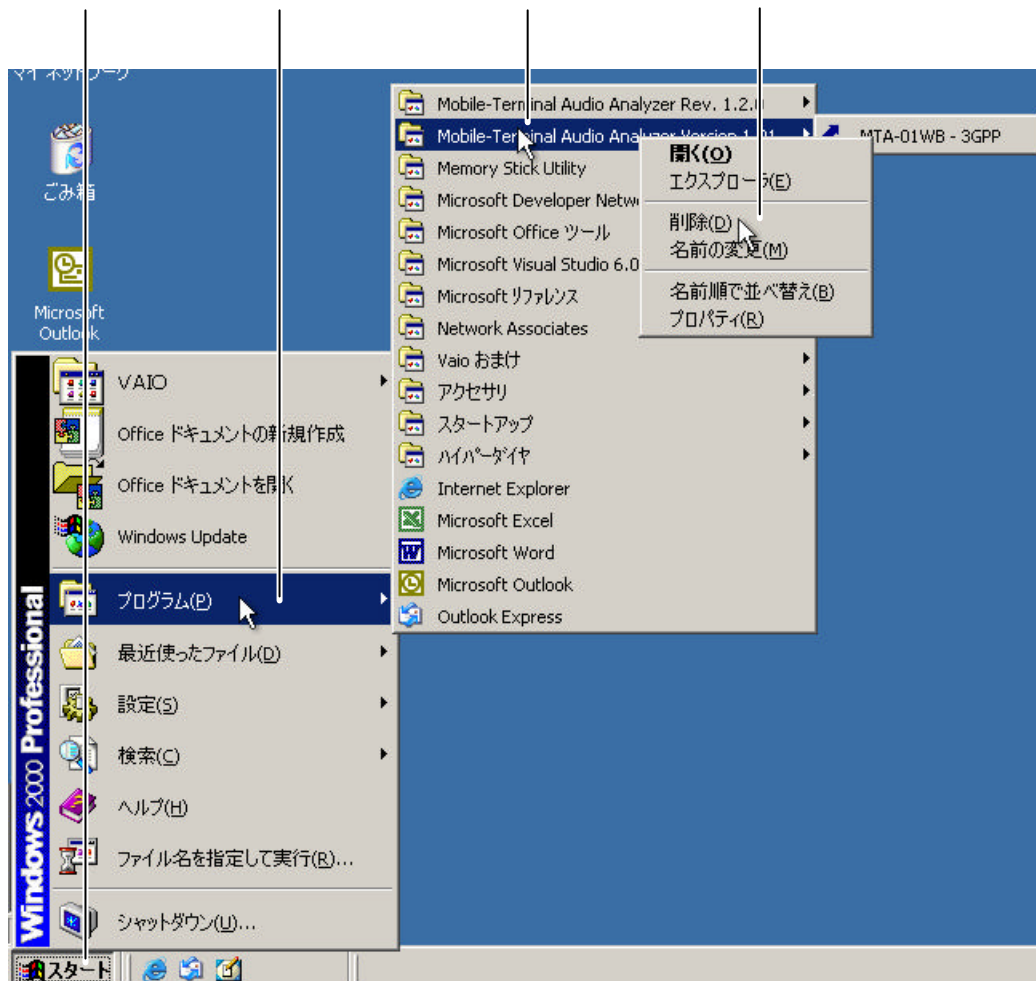
<プログラム(P)>メニューにある旧<Mobile-Terminal Audio Analyzer>メニューにマウスカーソルを移動します。



右クリックしてポップアップメニューを表示します。



ポップアップメニューの<削除>を選択(クリック)します。



Windows2000の起動メニュー削除例